

.....  
題 言  
.....

工事畫報社は

帝國鐵道協會の創立三十週年を祝し併せて鐵道及び之に關連する一切の工事と經營の合理的發達を希望するものである。

昭和三年五月

工事畫報社同人

○

鐵道協會員は協會の内容を知つて之を能く善用しなければならぬ、常に協會に接近する人も又は接近しない人も、國家の爲めに此の有用なる一機關を知ることは最も必要なことの一である。本號は先づ此點に努力を捧げた。

○

鐵道工事近代の發達は實に我國文化の一代表であつて世界的に充分認められてゐるのである、然も之が工事中は世に知られざるものが多い、本號は全國各地の著名なるもののみを蒐める事に努めた、大に視察參考せられ度い。

The Imperial Railway Club is going to have their 30th. annual memorial ceremony and our May issue will be entirely devoted to the meeting, specially comprising pictures and articles concerning railway works.

In followings, you will see many of leading railway construction works in Japan now under construction in summerized form.